令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅰ （細胞・内分泌）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（20/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能を理解する。特に細胞の機能と構造、諸臓器・組織の内部環境の調節、外部環境の防御について理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験、レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　人体の構造と機能①　解剖生理学　メディカ出版

②生物のしくみ標準テキスト　第３版　新しい解剖整理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

課題学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	１．人体を学ぶために基礎知識 1)解剖学的用語 2)細胞と組織	講義
2	2		講義
3	2		講義
4	2	２．内臓機能の調節 1)自律神経による調節 2)内分泌による調節 3)内分泌系（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎） 4)ホルモン分泌の調整	講義
5	2		講義
6	2		講義
7	2		講義
8	2	３．身体機能の防御と適応 1)皮膚の構造と機能 2)免疫系（生体の防御機構） 3)体温とその調節	講義
9	2		講義
10	2		講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅰ（生殖）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な生殖器の構造と機能について理解する

学習目標：人間の生命の誕生に興味をもち、人の生殖機能についての知識を深め、子孫を残す仕組みについて理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

参考図書：系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①　医学書院

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	遺伝による男性と女性	講義
2	2	生殖器の構造	講義
3	2	生殖を支えるホルモン	講義
4	2	性交と受精	講義
5	2	出産	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅱ(呼吸)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（14/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な呼吸器の構造と機能について理解する

学習目標：換気・ガス交換・呼吸調節に関わる呼吸器の構造と機能を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

毎回授業開始時に前回の講義内容の小テストを行います。必ず復習をしておきましょう。

≪履修に当たっての留意点≫

事前学習・事後学習も行っていきましょう。

分からないこと、初めて聞く言葉等はテキストや参考図書を活用して調べましょう。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	呼吸器のしくみ 胸部の構造	講義
2	2	上気道・下気道の構造 上気道の機能	講義
3	2	下気道と肺胞の構造 生体防御機構	講義
4	2	呼吸運動	講義
5	2	換気 ガス交換とガス運搬	講義
6	2	呼吸の調整 呼吸パターン	講義
7	2	呼吸器と酸塩基平衡	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅱ（循環器・血液）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（16/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な循環器・血液の構造と機能について理解する

学習目標：１．血液の組成およびそれぞれの働きを理解する

２．生体内の物質の流通路としての心臓・血管系の構造とその役割を理解する

３．一般社会、医療の中で生体情報として用いられる血圧についてその意味と調節機構を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	血液の組成と機能 血球とその機能（赤血球）	講義
2	2	血球とその機能（白血球、血小板と血液凝固、血栓溶解）	講義
3	2	血液型	講義
4	2	心臓の構造	講義
5	2	心臓の機能 血管と循環（血管の形態、主要な動脈・静脈と門脈系）	講義
6	2	血管と循環（血管の機能）	講義
7	2	リンパ系 復習（グループワーク）	講義
8	2	復習（発表）	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅲ（消化器）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（20/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能について理解する。

学習目標：摂取した食物がどのように消化吸収し、そして利用されるのか、消化器系の構造と機能を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

講義内容を事前に把握してテキスト等で学習し臨んでください。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	消化管の構造　口腔・唾液腺の構造・咀嚼について	講義
2	2	咽頭・食道の構造と機能・嚥下のメカニズム	講義
3	2	胃の構造と機能	講義
4	2	小腸・膵臓の構造と機能	講義
5	2	栄養素の消化と吸収　腹膜	講義
6	2	大腸の構造と機能・排便のメカニズム	講義
7	2	肝臓・胆嚢の構造と機能	講義
8	2	・食べる（①口～胃まで）（②十二指腸～小腸　消化・吸収） ・排便する（メカニズム含む）　グループワーク	講義
9	2	・食べる（①口～胃まで）（②消化・吸収） ・排便する（メカニズム含む）発表	GW
10	2	食べたものが身体でどのような経過をたどるか人体の構造を考えてまとめる	個人ワーク

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅲ （腎泌尿器）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能について理解する

学習目標：体液を調整する役割を果たす腎臓の機能・尿排泄の仕組みを理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

生体のしくみ　標準テキスト　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	ガイダンス・腎泌尿器の概要	講義
2	2	腎臓・糸球体の構造と機能	講義
3	2	尿細管の構造と機能・傍糸球体装置	講義
4	2	排尿路・排尿の生理	講義
5	2	体液の調節・酸塩基平衡・まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅳ（脳神経）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（20/30）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践するために必要な脳神経の構造と機能について理解する。
また、生活の中で外部からの刺激を受け止める感覚系の役割について理解する。

学習目標：生体の情報を感知し、発信しながら生体の環境適応を可能にし、恒常性を維持する脳・神経系と感覚器の構造と機能を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	神経系の構造と機能 神経系の分類、神経系の構造、中枢神経と末梢神経、 神経細胞・支持細胞とは	講義
2	2	ニューロンでの興奮と伝達とシナプスでの興奮の伝達	講義
3	2	中枢神経の構造と機能１　大脳の構造	講義
4	2	中枢神経の構造と機能２　大脳の機能	講義
5	2	中枢神経の構造と機能３　間脳の構造と機能 脳幹の構造と機能　小脳の構造と機能	講義
6	2	中枢神経の構造と機能４　脊髄の構造と機能（脊髄反射）	講義
7	2	中枢神経系を守る組織と機能 髄膜、脳室と脳脊髄液、脳の血管と血液脳関門	講義
8	2	末梢神経系の構造と機能１　脳神経	講義
9	2	末梢神経系の構造と機能２　脊髄神経	講義
10	2	伝導路と生体のリズム　伝導路・睡眠と覚醒	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅳ(感覚器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（10/30）	開講時期	１年前期
担当教員：　専任教員					

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践するために必要な脳神経の構造と機能について理解する。
また、生活の中で外部からの刺激を受け止める感覚系の役割について理解する。

学習目標：生体の情報を感知し、発信しながら生体の環境適応を可能にし、恒常性を維持する脳・神経系と感覚器の構造と機能を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版

②生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	感覚器系の構造と機能 １．眼の構造と機能	講義
2	2	２．耳の構造と機能	講義
3	2	３．味覚・嗅覚	講義
4	2	４．痛覚	講義
5	2	５．体性感覚と内臓感覚	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ｖ	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能について理解する

学習目標：私たちの体は中枢神経の指令を受けて動き、移動し、様々な活動を行いながら日常生活を営んでいる。この体を支え、運動し、活動を行う骨格や筋肉の構造と機能を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

①ナーシング・グラフィカ　人体の構造と機能①　解剖生理学　メディカ出版

②生物のしくみ標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

毎回予習をして、授業の臨んでください。

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	体を動かす仕組み①：骨の構造と種類、働き	講義
2	2	体を動かす仕組み②：関節の構造と種類	講義
3	2	体を動かす仕組み③：筋の構造と種類、働き	講義
4	2	体を動かす仕組み④：筋収縮のエネルギー代謝	講義
5	2	「姿勢を保つ」骨・関節と筋肉	講義
6	2	「腕を動かす」骨・関節と筋肉	講義
7	2	「足を動かす」骨・関節と筋肉	講義
8	1	「顔」の骨・関節と筋肉	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	看護における人体の構造と機能	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年後期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：日常生活行動の視点から人体の構造と機能を統合し、看護に活かすことができるよう探求することができる。

学習目標：１．人体の構造と機能の知識を根拠に、日常生活行動が理解できる。
２．看護援助を解剖生理学的な視点から考えることができる。

≪成績評価の方法≫

演習への取り組み姿勢・発表・レポートを総合的に評価（ルーブリック）

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

① 看護につなぐ　人体の構造と機能　照林社
② ナーシング・グラフィカ　解剖生理学　人体の構造と機能①　メディカ出版
③ 生体のしくみ　標準テキスト　第３版　新しい解剖生理　医学映像教育センター

≪授業外における学習方法≫

研究テーマを意識しながら、人体の構造と機能の講義を受ける。

≪履修に当たっての留意点≫

グループワークが主体となるため、協力した取り組みが必要となる。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	1	看護につなげる人体の構造と機能について 授業の進め方、評価の方法についてのガイダンス	講義
2	2	探求するテーマについての調べ学習（個人学習） 既習した人体の構造と機能の授業内容を、人間の生活行動から見直し、日常生活援助につなげて考えていく。	個人ワーク
3	2	探求するテーマについての調べ学習（個人学習）	個人ワーク
4	2	グループで探求したい内容を決めて、調べ学習 グループでテーマに沿った疑問を出し、解剖生理学の知識を根拠として解決に向けて調べていく。	演習
5	2	発表に向けて準備（調べ学習）	演習
6	2	プレゼンテーション資料の作成 他者に、いかに分かりやすく伝えることができるのか、そのための資料等の作成をする。	演習
7	2	テーマごとの発表と学びの共有（グループごとの発表）	演習
8	2	疑問解決に至った、人体の構造と機能の知識を再確認する。	演習

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	微生物学	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

微生物の特徴を知り、感染を予防することと、人体への影響を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座：疾病のなりたちと回復の促進［4］微生物学　医学書院

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	微生物の種類と特徴、細菌の性質、細菌培養実験	講義
2	2	ウイルスの性質、真菌の性質	講義
3	2	感染と感染症	講義
4	2	感染に対する生体防御機構	講義
5	2	滅菌と消毒	講義
6	2	感染症の検査と治療	講義
7	2	感染症の現状と対策	講義
8	2	病原細菌と細菌感染症①	講義
9	2	病原細菌と細菌感染症②	講義
10	2	病原細菌と細菌感染症③	講義
11	2	病原ウイルスとウイルス感染症①	講義
12	2	病原ウイルスとウイルス感染症②	講義
13	2	病原ウイルスとウイルス感染症③	講義
14	2	病原真菌と真菌感染症	講義
15	2	寄生虫と衛生動物、微生物学に関連した看護師国家試験問題紹介	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	病理学	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（14/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

人体に起こる病因と病変のうち、循環障害・炎症・腫瘍・免疫について基礎的な知識を学び、健康水準や健康障害の特徴･進行の過程、病理検査を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座:疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学　　医学書院

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	病理診断の実際	講義
2	2	病理学で学ぶこと（内因・外因）	講義
3	2	先天異常と遺伝性疾患	講義
4	2	循環障害①	講義
5	2	循環障害②	講義
6	2	腫瘍①	講義
7	2	腫瘍②	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	病理学	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（16/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

人体に起こる病因と病変のうち、循環障害・炎症・腫瘍・免疫について基礎的な知識を学び、健康水準や健康障害の特徴･進行の過程、病理検査を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座:疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学　　医学書院

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	老化と死、感染症	講義
2	2	生活環境と環境因子による生体の障害	講義
3	2	細胞、組織の障害と修復	講義
4	2	炎症について①	講義
5	2	炎症について②	講義
6	2	免疫①	講義
7	2	免疫②、感染症	講義
8	2	代謝異常	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅰ(脳神経系)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

脳神経の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑤　脳・神経　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	脳神経の解剖、意識障害、頭部外傷	講義
2	2	脳梗塞、TIA(一過性脳虚血発作)、脳出血、片頭痛	講義
3	2	クモ膜下出血、髄膜炎、てんかん、神経痛、顔面神経麻痺、ALS 他	講義
4	2	パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症他	講義
5	2	認知症、多発性硬化症、重症筋無力症、モヤモヤ病	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

呼吸器の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護①　呼吸器　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	呼吸器疾患の症状	講義
2	2	感染症について	講義
3	2	結核について	講義
4	2	慢性閉塞性肺疾患(COPD)について	講義
5	2	肺がんについて	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅰ(循環器系)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

循環器の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護②　循環器　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	循環器疾患を学ぶにあたっての基礎知識（異常からの症候）	講義
2	2	不整脈	講義
3	2	高血圧	講義
4	2	心不全	講義
5	2	虚血性心疾患	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅱ(消化器系)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

消化器の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概要を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護③　消化器　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	消化器の構造と機能	講義
2	2	食道疾患、胃疾患	講義
3	2	小腸・大腸疾患、胃ろう	講義
4	2	肝臓の疾患について	講義
5	2	胆嚢、膵臓の疾患について	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅱ(代謝･内分泌)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１ (10/30)	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

代謝・内分泌の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概要を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑧　腎/泌尿器/内分泌・代謝　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	内分泌総論、下垂体の疾患	講義
2	2	甲状腺、副甲状腺の疾患	講義
3	2	副腎の疾患、内分泌救急	講義
4	2	内分泌・代謝疾患について①	講義
5	2	内分泌・代謝疾患について②	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅱ(血液・造血器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

血液・造血器の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概要を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護④　血液/アレルギー・膠原病/感染症　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	白血病	講義
2	2	悪性リンパ腫	講義
3	2	血液、輸血、造血幹細胞移植	講義
4	2	血小板、凝固異常	講義
5	2	多発性骨髄腫、造血不全	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ(腎臓)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１ (10/30)	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

腎臓の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑧　腎/泌尿器/内分泌・代謝　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	腎臓の構造と働き	講義
2	2	尿異常、水・電解質など	講義
3	2	腎泌尿器系疾患ほか	講義
4	2	腎不全、腎疾患ほか	講義
5	2	問題、演習	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ(泌尿器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

泌尿器の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑧　腎/泌尿器/内分泌・代謝　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	尿路感染症	講義
2	2	尿路結石症、排尿管理	講義
3	2	尿路の通過傷害と機能障害	講義
4	2	尿路、性器の腫瘍①	講義
5	2	尿路、性器の腫瘍②	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ(運動器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

骨・関節の構造や機能を踏まえ、代表的な健康障害を病態生理学的に理解し、検査治療の概念を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑦　運動器　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	運動器について、骨折について	講義
2	2	外傷疾患とその看護	講義
3	2	関節リウマチとその看護	講義
4	2	関節疾患の看護	講義
5	2	脊椎疾患	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ(理学療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	２学年	単位(時間)	１（10/30）	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

運動障害や高次機能障害に対する理学療法の特徴と生体の反応を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座：別巻　リハビリテーション看護　医学書院

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	リハビリテーションの概論と基礎	講義
2	2	運動器系の障害とリハビリテーション	講義
3	2	杖・車椅子の操作実習	演習
4	2	中枢神経障害のリハビリテーション	講義
5	2	呼吸器系障害のリハビリテーション	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ(作業療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

運動障害や高次機能障害に対する作業療法の特徴と生体の反応を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座：別巻　リハビリテーション看護　医学書院

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	作業療法についての概論	講義
2	2	作業療法の実際①　食事、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ	講義
3	2	作業療法の実際②　排泄、更衣、整容、入浴動作	講義
4	2	作業療法の実際③　起居・移乗・移動	講義
5	2	作業療法の実際④　ＡＤＬ評価法、作業療法と看護の連携	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ（言語療法）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位（時間）	１（10/30）	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

運動障害や高次機能障害に対する言語療法の特徴と生体の反応を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座：別巻　リハビリテーション看護　医学書院

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	言語聴覚療法概論　嚥下のメカニズム	講義
2	2	嚥下評価、間接訓練	講義
3	2	嚥下直接訓練、聴覚障害	講義
4	2	高次脳機能障害	講義
5	2	失語症・構音障害	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ｖ（麻酔）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（10/30）	開講時期	２年前期
担当教員：　非常勤講師					
≪科目目標≫ 麻酔が生体に与える影響について理解する					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ 高齢者と成人の周手術期看護２　術中/術後の生体反応と急性期看護　医歯薬出版					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	麻酔について①麻酔の種類と合併症、術前・術後訪問	講義
2	2	麻酔について②回復室での全身管理	講義
3	2	麻酔について③手術および麻酔侵襲と生体反応	講義
4	2	麻酔について④術後合併症の予防	講義
5	2	総括	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ｖ（手術）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（4/30）	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

手術が生体に与える影響について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

高齢者と成人の周手術期看護３　開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護　医歯薬出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	腹腔鏡手術について	講義
2	2	開腹手術	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ｖ（ＭＥ）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	２学年	単位（時間）	１（16/30）	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

主な医療機器の原理を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

随時参考資料配布

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	医療機器について　輸液ポンプ・シリンジポンプの原理	講義・演習
2	2	人工呼吸器の原理・取扱い、酸素飽和度測定器	講義・演習
3	2	電気メス、低圧持続吸引器の取り扱い	講義・演習
4	2	生体情報モニタの原理・取扱い	講義・演習
5	2	除細動器・ペースメーカの取扱い	講義・演習
6	2	ＩＡＢＰ，ＰＣＲＳの取扱い	講義・演習
7	2	腎代替え療法	講義・演習
8	2	アフェレシス療法	講義・演習

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅵ(女性生殖器)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１ (8/15)	開講時期	２年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

女性生殖器系の健康障害と治療について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護⑨　女性生殖器　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	女性生殖器の構造と内分泌機能、婦人科診察、処置、検査	講義
2	2	婦人科良性疾患	講義
3	2	婦人科悪性疾患	講義
4	2	乳がん	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅵ(放射線治療)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（7/15）	開講時期	２年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

放射線治療の基礎的知識を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

系統看護学講座：別巻　臨床放射線医学　　医学書院

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	画像診断と看護	講義
2	2	Ｘ線を使用しない画像診断とＩＶＲ	講義
3	2	放射線治療と看護	講義
4	1	放射線による身体への影響	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅶ(免疫・アレルギー)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１ (8/15)	開講時期	２年後期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

免疫・アレルギー系の健康障害と治療の概要を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ EX　疾患と看護④　血液/アレルギー・膠原病/感染症　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	免疫・アレルギーの基礎	講義
2	2	アレルギー疾患	講義
3	2	膠原病の基礎	講義
4	2	膠原病の臨床	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅶ(補完・代替療法)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位(時間)	１（7/15）	開講時期	２年後期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

補完・代替療法の概要を学ぶ。西洋医学とは異なる切り口で、患者を全人的に捉え、自然治癒力を引き出す療法について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

基本としくみがわかる東洋医学の教科書　ナツメ社

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	食養生とミトコンドリア	講義
2	2	東洋医学の基礎・脂質	講義
3	2	自律神経と感情のしくみ	講義
4	1	自然医学の基礎	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	看護にいかす薬理学	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	１年後期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

医療における薬物療法について知るとともに代表的な薬物の作用機序、特徴、副作用、薬物の取り扱いや管理を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ちと回復の促進②　臨床薬理学　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	医薬品、医薬品の作用原理とその影響	講義
2	2	医薬品の適正な使用に向けて	講義
3	2	感染症に使用する薬	講義
4	2	免疫疾患・アレルギー・炎症に使用する薬	講義
5	2	がんに使用する薬	講義
6	2	末梢神経に使用する薬	講義
7	2	脳・中枢神経系疾患に使用する薬	講義
8	2	循環器疾患に使用する薬	講義
9	2	血液・造血器疾患に使用する薬	講義
10	2	代謝／内分泌疾患に使用する薬	講義
11	2	呼吸器疾患に使用する薬	講義
12	2	消化器疾患に使用する薬	講義
13	2	泌尿器・生殖器疾患に使用する薬	講義
14	2	感覚器疾患に使用する薬	講義
15	2	周術期・救命救急時に使用する薬	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	公衆衛生学	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	３学年	単位（時間）	１（１５）	開講時期	３年前期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

人間の健康と社会環境の関連を知り、組織的な公衆衛生活動について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　健康支援と社会保障②　公衆衛生　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	健康と予防の概念　環境保健	講義
2	2	人口と保健統計　医療法	講義
3	2	食中毒　感染症	講義
4	2	母子保健　学校保健	講義
5	2	非感染性疾患　地域保健　成人保健	講義
6	2	高齢者保健　介護保険	講義
7	2	精神保健　産業保健	講義
8	1	まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	関係法規	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	３学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	３年後期

担当教員：　非常勤講師

≪科目目標≫

保健・医療・福祉に関する諸制度の概要を理解し、看護との関係を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　健康支援と社会保障④　看護をめぐる法と制度　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	イントロダクション　総論	講義
2	2	民事法の世界	講義
3	2	刑事法の世界	講義
4	2	行政法の世界	講義
5	2	労働法の世界	講義
6	2	看護をめぐる様々な方法	講義
7	2	問題演習	講義
8	1	医療倫理	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	社会福祉	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位（時間）	１（16/30）	開講時期	２年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

全ての人々が健康でその人らしい生活が送れるよう支援するために、社会福祉の理念、社会的な施策の動向、少子高齢化の現代社会とその福祉の実際、及び社会保障制度を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　健康支援と社会保障③　社会福祉と社会保障　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	社会福祉、社会保障、福祉の実践	講義
2	2	社会資源の活用	講義
3	2	生活保護	講義
4	2	地域福祉	講義
5	2	年金制度、労災制度	講義
6	2	医療保険制度、雇用保険制度	講義
7	2	雇用保険制度、介護保険制度	講義
8	2	まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	社会福祉	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位（時間）	１（14/30）	開講時期	２年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

全ての人々が健康でその人らしい生活が送れるよう支援するために、社会福祉の理念、社会的な施策の動向、少子高齢化の現代社会とその福祉の実際、及び社会保障制度を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　健康支援と社会保障③　社会福祉と社会保障　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	オリエンテーション・　総論	講義
2	2	暮らしと社会福祉・社会保障	講義
3	2	ライフサイクルと社会福祉（児童）	講義
4	2	ライフサイクルと社会福祉（障害・難病）	講義
5	2	ライフサイクルと社会福祉（高齢者）	講義
6	2	生活と福祉・事例を通して	講義
7	2	まとめ	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	健康管理論	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（7/15）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：社会における人々の健康に関する意識状況を知る。また、自己の健康に関心をもち、適切な健康管理を理解する。

学習目標：１．WHO の健康の定義の概要を理解する。

２．プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、健康日本 21 等の健康政策の概要を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験・レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　基礎看護学①　看護学概論　メディカ出版

医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎　生活習慣病を中心に　医歯薬出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	１．健康とは	講義・演習
2	2	２．健康の定義 ３．健康に影響する要因 ４．健康政策	講義・演習
3	2	５．発達段階からみた健康　ライフサイクルと健康	講義・演習
4	1	６．健康に影響を及ぼす要因への対応	講義・演習

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	健康管理論	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（8/15）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員

≪科目目標≫

学習目的：社会における人々の健康に関する意識状況を知る。また、自己の健康に関心をもち、適切な健康管理を理解する。

学習目標：健康問題へのアプローチの方法としての健康行動理論を理解する。

≪成績評価の方法≫

筆記試験、課題レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎　生活習慣病を中心に　医歯薬出版

≪授業外における学習方法≫

課題学習を行う

≪履修に当たっての留意点≫

課題レポートは、教科書以外の文献も活用する事。提出期日・時間厳守。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	１．健康行動理論①　健康信念モデル、社会的認知理論	講義
2	2	２．健康行動理論②　変化のステージモデル、計画的行動理論、ストレスとコーピング	講義
3	2	３．健康行動理論③　ソーシャルサポート、コントロール所在	講義
4	2	４．健康行動理論④　７つの理論のまとめと活用	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	健康と食生活（生化学）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（16/30）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

生活者の健康を維持するために必要な栄養素の構造と性質を理解し、酵素の働き･代謝について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能②　臨床生化学　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	エネルギーと ATP、アミノ酸の構造、ペプチド結合	講義
2	2	タンパク質の立体構造と病気、酵素の分類	講義
3	2	酵素の影響因子	講義
4	2	アルコール代謝、アイソザイムと検査、糖の構造	講義
5	2	二糖類、多糖類　糖の代謝（消化）	講義
6	2	解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化	講義
7	2	糖新生、ペントースリン酸回路、血糖値の調整、脂質	講義
8	2	中性脂肪、脂肪の分解と合成、リポ蛋白質、コレステロール代謝	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	健康と食生活（栄養学）	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（14/30）	開講時期	１年前期

担当教員：非常勤講師

≪科目目標≫

生活者の健康を維持するために必要な栄養素の構造と性質を理解し、酵素の働き･代謝について理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ちと回復の促進④　臨床栄養学　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

自己学習

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	臨床栄養学の基礎知識	講義
2	2	食品成分と食事摂取基準	講義
3	2	日常生活と栄養①	講義
4	2	日常生活と栄養②	講義
5	2	療養生活と栄養	講義
6	2	疾患別の栄養食事療法①	講義
7	2	疾患別の栄養食事療法②　栄養食事指導の実際	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	多職種理解と連携	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位（時間）	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員、非常勤講師

≪科目目標≫

医療の中で活躍する多職種の職務・職域・具体的な仕事内容を知り、自らの専門職と多職種との連携について考える

≪成績評価の方法≫

レポート　・授業参加度

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　基礎看護学①　看護学概論　メディカ出版

ナーシンググラフィカ　基礎看護学⑤　臨床看護総論　メディカ出版

≪授業外における学習方法≫

≪履修に当たっての留意点≫

非常勤講師に対して質問できるように考えてくる。

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	看護師と関係職種、医療の場における多職種連携 医療施設で働く多職種（チーム医療）	講義
2	2	多職種連携のための心構え	講義 ワーク
3	2	管理栄養士－職務と職域、仕事の実際、栄養管理室とチーム医療 **＜　管理栄養士　＞** 退院調整看護師の役割―仕事の実際、多職種との連携 **＜　退院調整看護師　＞**	講義
4	2	理学療法士－職務と職域、仕事の実際、理学療法士とチーム医療 **＜　理学療法士　＞** 薬剤師―職務と職域、仕事の実際、薬剤師とチーム医療 **＜　薬剤師　＞**	講義
5	2	臨床検査技師－職務と職域、仕事の実際、臨床検査技師とチーム医療 **＜　臨床検査技師　＞** 診療放射線技師－職務と職域、仕事の実際、診療放射線技師とチーム医療**＜　診療放射線技師　＞**	講義
6	2	患者を取り巻く多職種のマップ作成	演習
7	2	多職種連携の実際（マップ）発表	演習
8	1	まとめ（多職種との連携―看護師の役割）	講義